



# 安藤百福物語

## インスタントラーメンの発明者

### あ ら す じ

お湯を注ぐだけで美味しく食べられるインスタントラーメン。それを発明したのが安藤百福です。百福は子どものころから食べる事が大好きでした。なぜなら、食べると幸せな気持ちになり、力が湧いてくるからです。

今から約80年前。日本は戦争に負けて多くのものを失いました。そんな中、闇市でラーメンをすする人たちの明るい表情を見た百福は、改めて食べ物の持つ力を実感。「大勢の人に手軽でおいしくラーメンを食べてほしい」と考え、自宅の庭に研究小屋を建て、試行錯誤を繰り返しながら、世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を作りました。47歳、一からの挑戦です。

百福の「食べ物で人を幸せに」という願いから生まれたインスタントラーメン、世界に広がり、多くの人に愛されるだけでなく、災害時の非常食として、また宇宙食として、今もなお可能性を広げています。

### DVDをより深く子どもたちが理解し、考える力をつけるために

視聴後に、簡単な声掛けや感想を書く事で、子どもたちの理解はより一層深まり、考える力が身に付きます。

- (1) 百福が大好きだったのはどんなことかな？
- (2) 百福はどうして食べる事が好きだったのかな？
- (3) 百福はたくさんの失敗を繰り返してインスタントラーメンを作ったけれど、どうしてあきらめずにがんばれたのかな？
- (4) インスタントラーメンを発明した人の事を知って、どんなことを感じた？
- (5) キミは、将来どんなことをやりたい？  
そして、それをやり遂げるためには何が大切だと思う？
- (6) 「私はこんな風に思った」「私はここが面白かった」など、お友達と色々な話をしてみましょう。  
また、おうちの人にもDVDで見たことを教えてあげましょう。